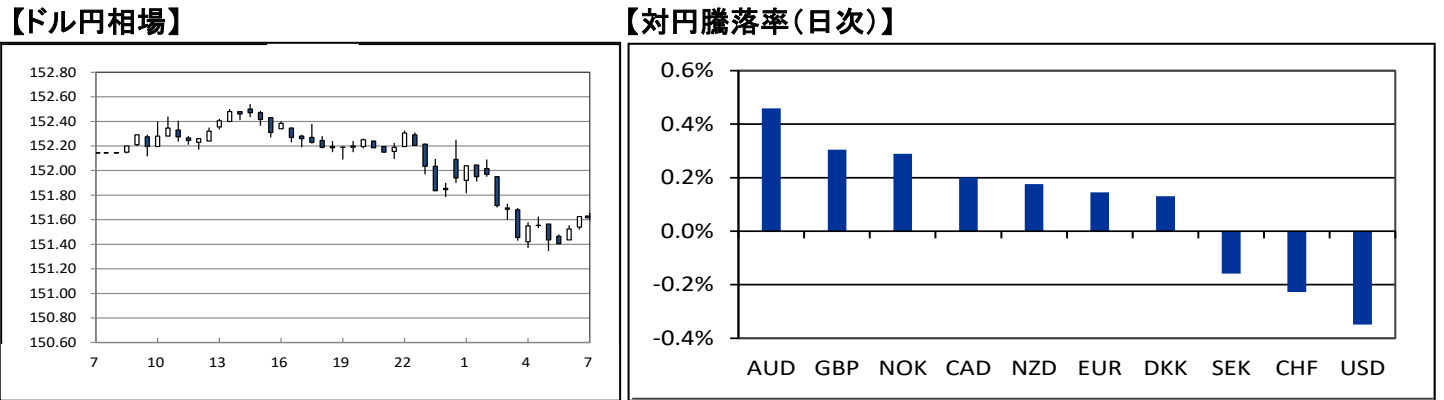


【昨日の市況概要】				公示仲値	152.43
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	152.28	1.0873	165.55	1.2954	0.6584
SYD-NY High	152.54	1.0936	166.02	1.3042	0.6641
SYD-NY Low	151.35	1.0873	165.44	1.2950	0.6579
NY 5:00 PM	151.62	1.0929	165.67	1.3041	0.6637
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	42,221.88	427.28	日本2年債	0.4500%	▲0.0100%
NASDAQ	18,439.17	259.19	日本10年債	0.9300%	▲0.0100%
S&P	5,782.76	70.07	米国2年債	4.1869%	0.0208%
日経平均	38,474.90	421.23	米国5年債	4.1564%	0.0087%
TOPIX	2,664.26	20.00	米国10年債	4.2798%	▲0.0059%
シカゴ日経先物	39,040.00	580.00	独10年債	2.4300%	0.0410%
ロンドンFT	8,172.39	▲ 11.85	英10年債	4.5275%	0.0725%
DAX	19,256.27	108.42	豪10年債	4.5660%	0.0030%
ハンセン指数	21,006.97	439.45	USDJPY 1M Vol	12.94%	▲0.17%
上海総合	3,386.99	76.78	USDJPY 3M Vol	11.47%	▲0.23%
NY金	2,749.70	3.50	USDJPY 6M Vol	10.78%	▲0.18%
WTI	71.99	0.52	USDJPY 1M 25RR	▲0.79%	Yen Call Over
CRB指数	283.65	0.89	EURJPY 3M Vol	10.11%	▲0.09%
ドルインデックス	103.42	▲ 0.46	EURJPY 6M Vol	9.92%	▲0.15%

東京	東京時間のドル円は152.28レベルでオープン。仲値にかけてドル買い優勢となるも、その後失速。米大統領選の先行きが不透明な中、動意に欠ける展開となり152円台前半を中心にレンジ推移。結局152.28レベルでクロスした。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、152.28レベルでオープン。米選挙を控え、方向感なく推移し、結局152.29レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は152円台前半でスタート。152.54まで上昇する場面もあったが、その後は米大統領選の投開票日を控え、ポジション調整らしき動きから一転売りが優勢となり、152.29レベルでNYオープン。朝方に発表された米9月貿易赤字が予想以上に悪化した事を背景に、ドル売りが強まり、151.80付近まで下落。続いて発表された米10月ISM非製造業景況指数が予想を上回った事が好感され、一時152.20近辺まで反発するも、買い戻しは長続きせず、その後再度152円台を割り込み、151.90付近まで反落。午後は米長期金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり、151.35まで値を下げる。その後は下げ渋り、151.62レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。独金利の上昇が買い要因となり、じり高で推移し、1.0896レベルでNYオープン。午前中は独金利が上昇幅を拡大する動きを背景に底堅く推移し、1.0920付近まで上昇。午後も米長期金利の低下に伴ったドル売りが支えとなり、1.0936まで続伸し、その後1.0929レベルでクロス。

【昨日の指標等】						
Date	Time		Event		結果	予想
11月5日	10:45	中	Caixin中国PMIコンポジット	10月	51.9	-
	10:45	中	Caixin中国PMIサービス業	10月	52.0	50.5
	12:30	豪	RBAキャッシュレートの発表	5-Nov	4.4%	4.4%
	16:45	仏	鉱工業生産(前月比/前年比)	9月	-0.9%/-0.6%	-0.6%/-0.4%
	16:45	仏	製造業生産(前月比/前年比)	9月	-0.8%/-0.9%	-1.3%/-
	22:30	米	貿易収支	9月	-\$84.4b	-\$84.0b
	23:45	米	コンポジットPMI・確報	10月	54.1	54.3
	23:45	米	サービス業PMI・確報	10月	55.0	55.3
11月6日	00:00	米	ISM非製造業景況指数	10月	56.0	53.8
【本日の予定】						
Date	Time		Event		予想	前回
11月6日	08:50	日	日銀議事録(9/19-20開催分)	-	-	-
	16:00	独	製造業受注(前月比)	9月	1.5%	-5.8%
	17:55	独	サービス業PMI・確報	10月	51.4	51.4
	17:55	独	コンポジットPMI・確報	10月	48.4	48.4
	18:00	欧	サービス業PMI・確報	10月	51.2	51.2
	18:00	欧	コンポジットPMI・確報	10月	49.7	49.7
	19:00	欧	PPI(前月比/前年比)	9月	-0.6%/-3.4%	0.6%/-2.3%



【予想レンジ】			
通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.20—152.70	1.0800—1.1000	164.00—167.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の東京時間では、五・十日に伴うドル買い需要や日本株高を好感した円売りに支えられ、ドル円は上方向に推移したが、終盤にかけては反落。海外時間では、米大統領選を控えた様子見ムードのなか、ややドル売りが優勢、152円前半でじり安な展開。米ISM製造業指数が予想を上回るも、米10年債入札が好調な結果となり米金利が急落するとドル売りが一段と加速、ドル円は151円台前半まで値を下げた。本日は日本時間午前8時からいよいよ米大統領選の開票予定であり、非常にボラティリティの高い展開が予想される。ここまで市場は既にトランプ氏の勝利を織り込んだトランプトレードを積み増しており、IMMの投機筋のポジションは円売り越しに転じている。そのため、トランプ氏が優勢となった場合、一時的にドル高に振れると思われるが、上昇幅は限定的であると考える。一方でハリス氏が優勢となった場合、トランプトレードの巻き戻しから、株安・債券高・ドル安に動くと見込まれる。ただし支持率は非常に拮抗しており、結果が判明するまで数日間を要する可能性があるため、新たな報道や調査結果次第で相場が乱高下する可能性がある。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。